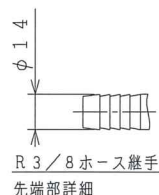
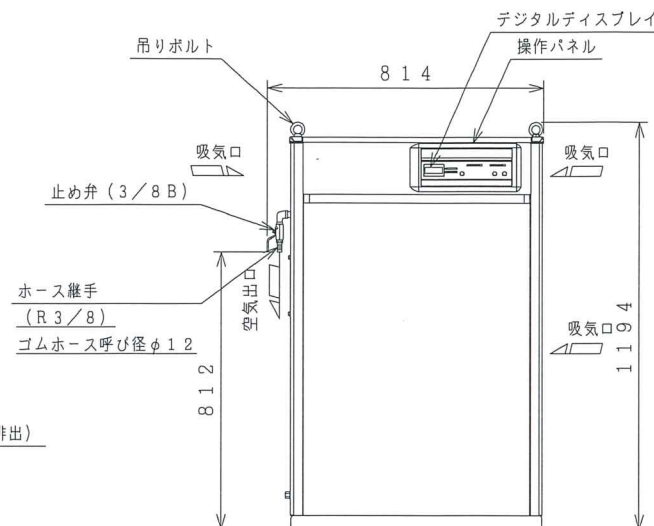
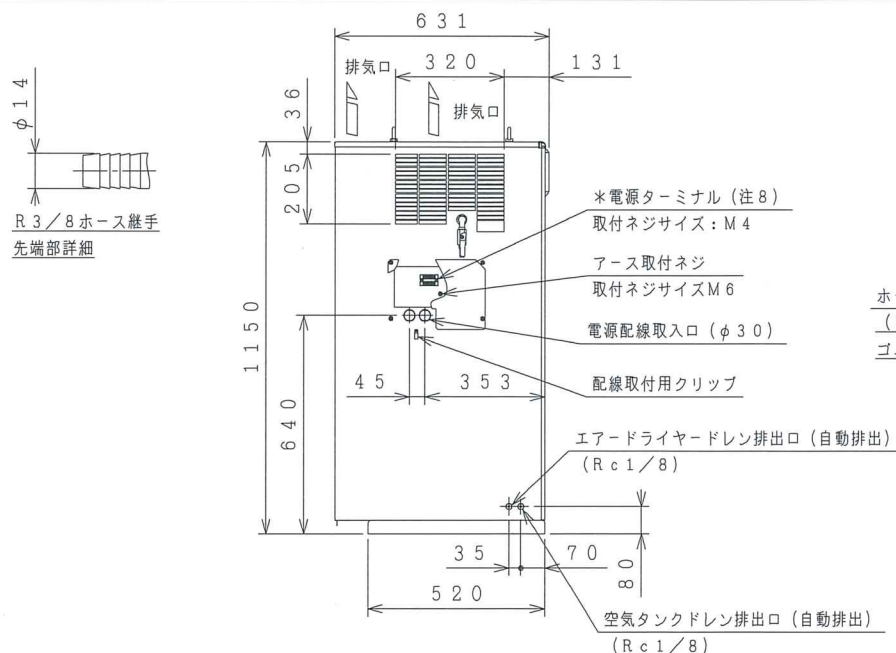
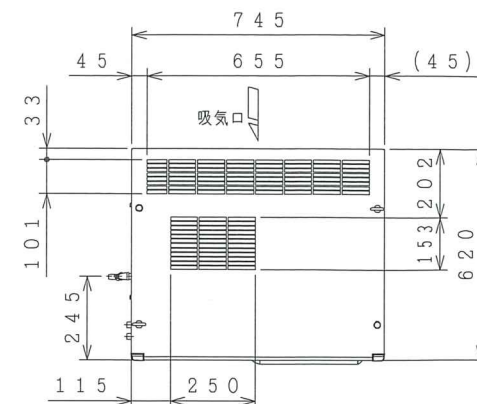


型 式		PBD-1.5MNB5	エ	型 式	HD-15XF
周 囲 温 度		℃	ア イ ド ラ イ ヤ ー	電源電圧 (50/60Hz) 注9) V	単相 200/200・220
出口空気露点温度		℃		冷凍機公称出力	W
圧縮機本体				消費電力 (50/60Hz) W	230/250・280
シリンダ内径×行程×数		72mm×65mm×1	空 気 タ ン ク	電流 (50/60Hz) A	1.3/1.3・1.3
最高圧力 MPa		0.93		オートドレントラップ	電磁弁式
回転速度 min ⁻¹		970		冷媒・冷媒量	g
吐出し空気量 注1,2) L/min		165	付 属 品	直 径 mm	275
型 式		TFO-LK		全 長 mm	667
電 圧 (50/60Hz) V		三相 200/200・220		内蔵空気タンク容積 L	35
出 力		1.5kW	総 質 量	オートドレントラップ	電磁弁式
動 作 電 流 (50/60Hz) min ⁻¹		1440/1730・1745		パッド	4
極 数		4		ロト	1
機 定 格 電 流 (50/60Hz) A		7.8/7.5・7.0	機 品	ホース継手 (R1/8)	2
始動電流 (50/60Hz) A		49.9/44.6・49.1		ビニールチューブ φ8×φ6×1000mm	3
漏電遮断器容量 A		30 (感度電流:30mA)		必要換気量 注5) m ³ /min	25



注1) 吐出し空気量は、最高圧力時に吐出する空気量を吸込み状態(大気圧)に換算した値です。

2) 吐出し空気量は、エアードライヤーのドレン凝縮により仕様表に対し約3～5%減少します。またドレン排出時には約0.5%減少します。

3) 騒音値は、無響音室にて正面1.5mで測定した値です。

4) エアードライヤー運転時の騒音値は仕様表より1～2dB [A] 増加します。

5) 運転中に室温が40℃を越える場合には上記必要換気容量以上の換気扇を設け40℃以下になるようにしてください。

6) 外装色は、指定色が記載されている場合を除き標準色とします。

7) 内外装塗装色のマンセルNo. は近似値を示します。

8) 電源配線はターミナル(図示部)に接続してください。
(エアードライヤーには配線済みです)

9) 給油の際には必ず日立ベビコン専用オイルをご使用ください。

10) Bluetooth®通信・専用アプリについて

- ・本製品には専用アプリとのBluetooth通信機能が装備されています。
- ・専用アプリについては取扱説明書をご参照ください。
- ・Bluetooth通信機能をOFFに設定することも可能です。

適用	区分	外装色マンセルNo.
	標準品	10Y 8/1
	指定色	

(内装色: 9.1B4.9/1.4)

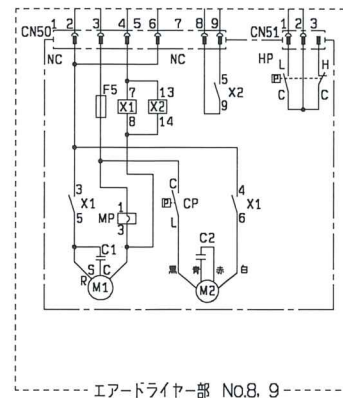
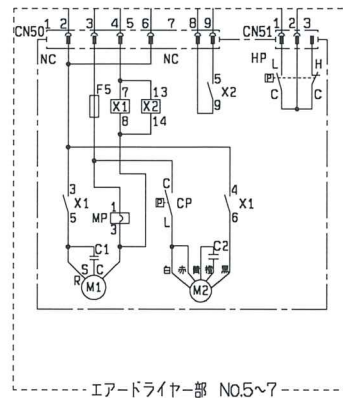
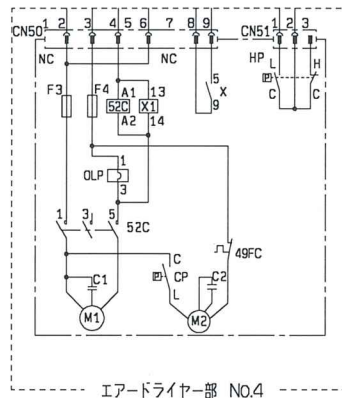
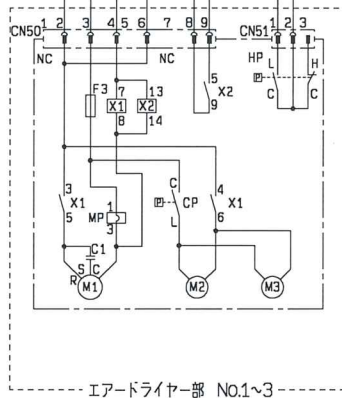
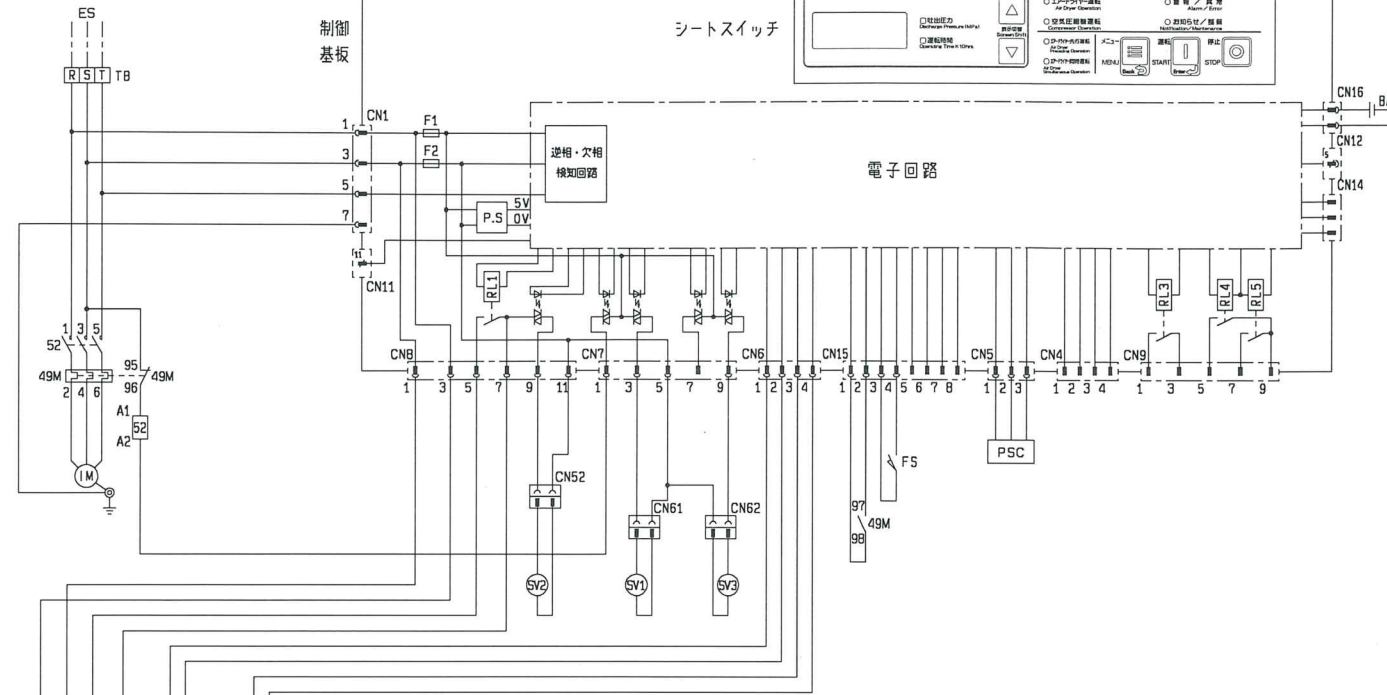
製図	奥田	21.12.02	尺度
審査	—		比例尺
承認	高橋	21.12.02	デナイ
パッケージベビコン PBD-1.5MNB5 ● PBD-1.5MNB6			

株式会社 日立産機システム

3K-12097~1

適用 NO.	製品型式	エアードライヤー型式
1	PBD-1.5MNB5 ● PBD-1.5MNB6	HD-15XF
2	PBD-2.2MNB5 PBD-2.2MNB6	
3	PBD-3.7MNB5 PBD-3.7MNB6	
4	PBD-5.5MNB5 PBD-5.5MNB6	HD-55XG
5	PBD-7.5MNB5 PBD-7.5MNB6	HD-55XF
6	PBD-2.2HMNB5 PBD-2.2HMNB6	HD-25HMN
7	PBD-3.7HMNB5 PBD-3.7HMNB6	
8	PBD-5.5HMNB5 PBD-5.5HMNB6	HDF-25HMN
9	PBD-7.5HMNB5 PBD-7.5HMNB6	

3φ AC200/200~220V
(50/60Hz)



記号	品名	記号	品名	記号	品名	記号	品名	記号	品名
ES	元電源	RL	リレー	MP	モータプロテクタ	F1. 2	ヒューズ(3A)	52C	電磁接触器(エアードライヤー)
TB	電源ターミナル	SV1	アンローダ電磁弁※1	OLP	オーバーロードプロテクタ	F3. 4	ヒューズ(5A)	49FC	サーマルリレー(ファンモータ)
52	電磁接触器	SV2	エアードライヤードレン排出電磁弁	M1	冷凍機モータ	F5	ヒューズ(7A)	BAT	バッテリー
49M	サーマルリレー	SV3	タンクドレン排出電磁弁	M2. 3	ファンモータ	PSC	圧力センサ		
IM	圧縮機モータ	CP	ファンコントロール圧カスイッチ	C1	コンデンサ(冷凍機モータ)	X1. 2	補助リレー		
P. S	パワーサプライ	HP	高圧圧カスイッチ	C2	コンデンサ(ファンモータ)	FS	フロートスイッチ		

※1 NO.6~9では、中間
冷却器放気用電磁弁

製図	奥田	'20. 4.13	尺度
審査	—		
承認	高橋	'20. 4.13	

株式会社 日立産機システム
3K-12214~1

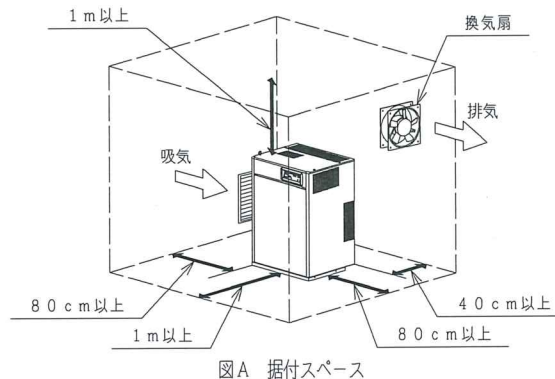
1. 据付場所に関するご注意

- (1) 明るく、広く、風通しのよい屋内に据付けてください。
- (2) 次のような条件での設置、ご使用は大変危険ですので絶対に避けてください。

- 雨や蒸気などの水分のかかる場所、湿度の高い場所
(漏電・発錆・寿命低下の原因)
- 屋外や直射日光があたる場所
(過熱・変色・変質・劣化の原因)
- 鉄粉・砂じんなどの異物がかかる場所
(フィルタなどの目詰まり・それらを起因とする温度上昇、寿命低下、性能低下、破損、爆発事故の原因)
- 有機溶剤・酸・塩素ガス・オゾンガス・アンモニアガスなどの腐食性ガスのある場所、油・油ミストの多い場所および臭素を使用する場所
(圧縮機本体部品などの腐食の原因)
- 爆発性・引火性ガス・有機溶剤・爆発性粉塵のある場所
(火災・事故の原因)
- 市販の防振パッドや防振架台等の使用
専用基礎固定金具以外での固定
(異常振動や空気タンクの亀裂などの原因)

2. 据付スペースに関するご注意

- (1) 運転中の温度上昇防止及びメンテナンス性から、圧縮機の周囲には図Aに示すスペースを確保してください。
- (2) 圧縮機からは表B、Cに記す熱量が発生します。室温が40℃以上になると寿命低下や故障の原因となりますので、表B、Cを参照のうえ室温が40℃以上にならないよう必要換気容量以上の換気扇を設けてください。



表B 換気データ (パッケージベビコン、パッケージオイルフリーベビコン)

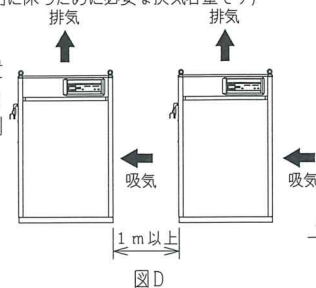
項目	出力 (kW)	1.5	2.2	3.7
発生熱量	kJ/h	5,023	7,116	12,140
必要換気容量	m ³ /min	15	20	35

表C 換気データ (エアードライヤー内蔵型)

項目	出力 (kW)	パッケージベビコン、パッケージオイルフリーベビコン		
		1.5	2.2	3.7
発生熱量	kJ/h	7,600	10,884	19,130
必要換気容量	m ³ /min	25	30	55

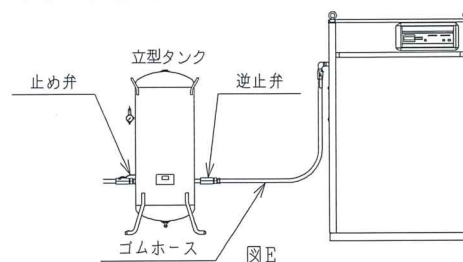
(必要換気容量はパッケージベビコン、パッケージオイルフリーベビコン1台を運転した場合、室温の上昇を5℃以内に保つために必要な換気容量です)

- (3) 並列運転する場合は、図Dのように設置してください。図Dのように設置ができない場合は、一方の排気が他方の吸気側に行かないように設置してください。また、縦列運転をする場合にも、1m以上の間隔をあけてください。



3. 配管上のご注意

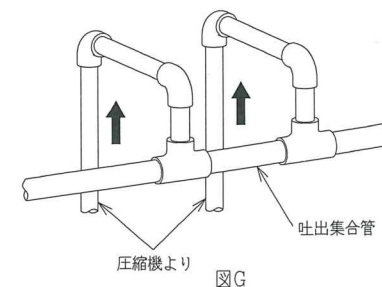
- (1) 工場配管の接続は、必ず耐圧・耐熱性を有するゴムホース (使用圧力: 1MPa以上、耐熱100℃以上) をご使用ください。振動による配管の損傷を防ぎます。ゴムホースは必ずホースバンドで固定してください。
- (2) 圧縮機と立型タンク、工場配管の配管途中には、メンテナンス性及び圧縮空気の逆流を防ぐため、止め弁と逆止弁を設けてください。



- (3) 「ECOMODE」制御にてご使用の場合には、表Fに記す容積の立型タンクの設置を推奨します。(配管容積、既設空気タンク等で下記立型タンク相当の容積を確保できる場合は、不要です。) また、「ノーマルモード」制御で多量の空気を短時間に使用する場合や、起動頻度が高い場合などにも表Fに記す容積の立型タンクを設置してください。
- (4) 空気出口部に直接重量物 (フィルタなど) を取り付けしないでください。
- (5) 吐出し配管を集合配管へ接続する場合はドレンの逆流防止のため、図Gに示すように集合配管の上から接続してください。

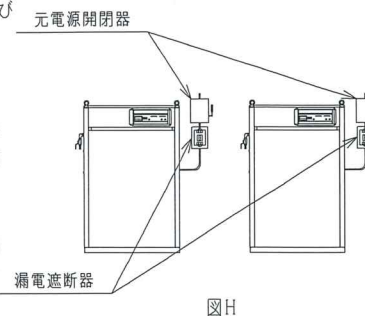
表F 推奨空気タンク容積

出力 (kW)	1.5	2.2	3.7
タンク容積	38L以上	55L以上	95L以上



4. 配線に関するご注意

- (1) 電気工事は、電気設備技術基準および内線規程に従って行ってください。
- (2) 電源には、必ず元電源開閉器または手元ブレーカと漏電遮断器を一台ごとに設置してください。漏電遮断器は、漏電や過電流から圧縮機を保護する装置ですので、電源スイッチとしての目的では使用しないでください。圧縮機の点検・整備の際は、元電源開閉器または手元ブレーカにて必ず電源を遮断してください。配線容量は表Iに記す通りです。



表I 配線容量

出力 (kW)	1.5	2.2	3.7
電源 (50/60Hz)	三相 200/200・220V		
配線容量 / 台	配線	1.6mm (2.0mm ²)	1.6mm (2.0mm ²)
	最小太さ	2.0mm (3.5mm ²)	2.0mm (3.5mm ²)
	アース線	1.6mm (2.0mm ²)	2.0mm (3.5mm ²)
	最小太さ	2.0mm (3.5mm ²)	2.0mm (3.5mm ²)
元電源開閉器容量	15A [15A]	30A [20A]	30A [30A]
	手元ブレーカ容量	15A	20A
	30A	30A	30A
漏電遮断器	日立型式	EB-30E EXK60-C	EB-100E
	定格電流	30A<30mA>	40A<30mA> 60A<30mA>

[] 内: ヒューズ容量 < > 内: 感度電流

製図	奥田	'21.9.30	尺度
審査	-	-	-
承認	高橋	'21.9.30	-

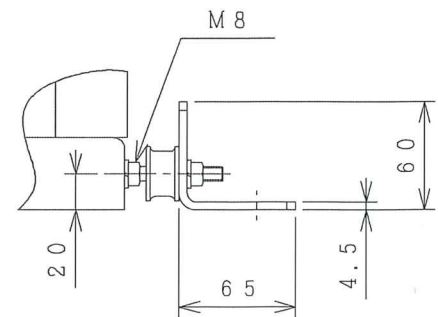
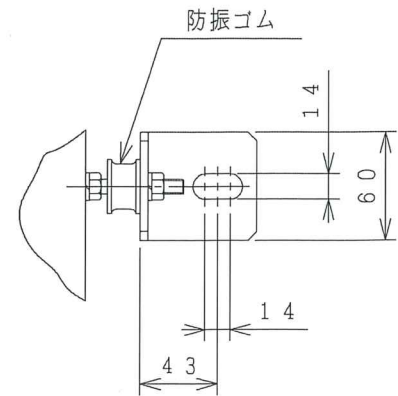
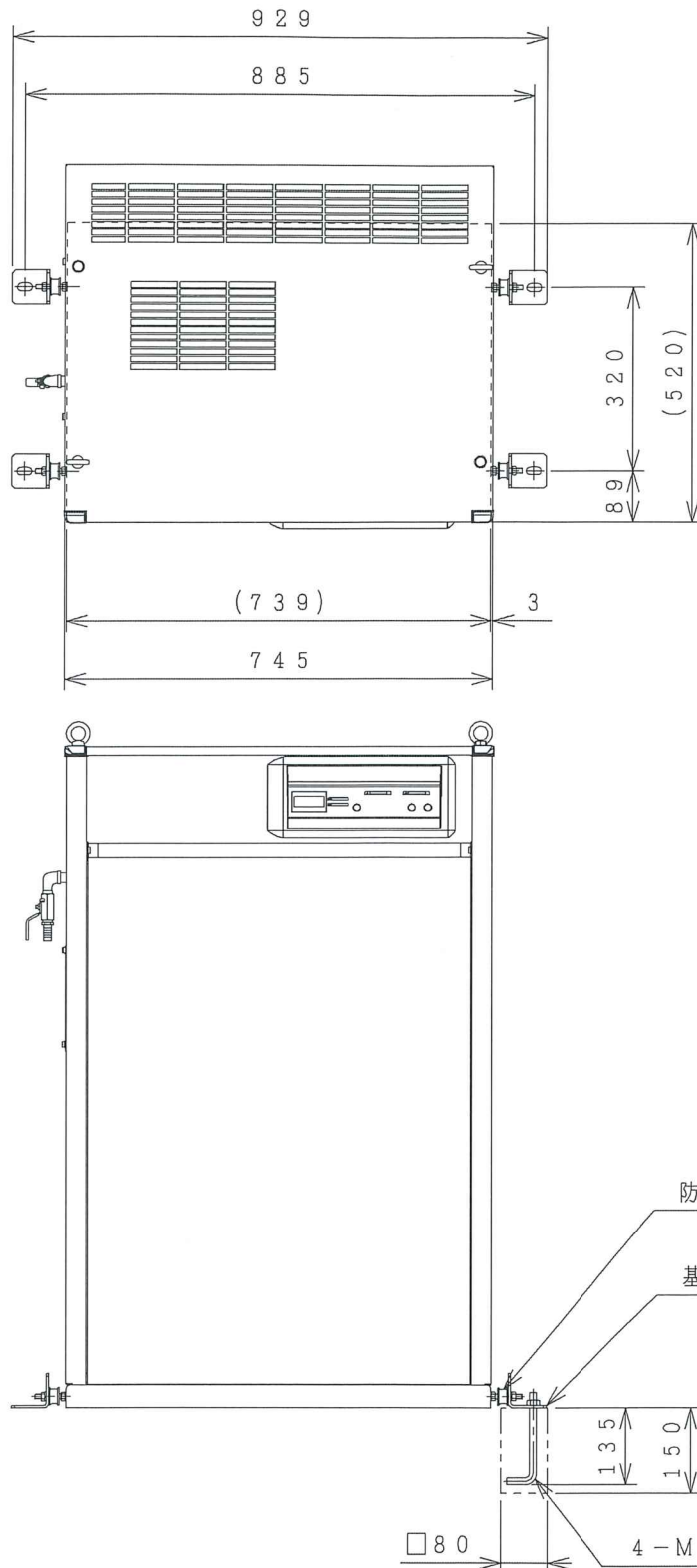
株式会社 日立産機システム

据付、配管、配線上の注意
PB(D) - 1.5, 2.2, 3.7 MNB
PO(D) - 1.5, 2.2, 3.7 MNB

3K-12119~2

受注番号

顧客殿名



基礎金具部詳細

注. () 寸法は、ガダイ寸法を示す。

製図	成澤	20・2・28	尺度
審査	梅田	20・2・28	比例尺
承認	鈴木	20・2・28	デナイ
PBD, POD-1.5, 2.2 MNB 5			
● PBD, POD-1.5, 2.2 MNB 6			
据付図			

株式会社 日立産機システム

8K-9587